令和８年第２回
帯広市公営企業経営審議会

資料１

令和７年度
決算の概要



帯広市上下水道部キャラクター
ミナモくん

令和８(2026)年９月２日
帯広市上下水道部

目次

１　令和７年度　上下水道部の主な取組内容・・・・・・・・・３

２　令和７年度　水道・下水道　業務量 及び 経営指標・・・６

３　水道事業会計　令和７年度決算概要・・・・・・・・・・10

４　下水道事業会計　令和７年度決算概要・・・・・・・・・14

令和７年度
上下水道部の主な取組内容

（1） 安全安心な施設の機能保全

水道　老朽水道管の更新【6.39億円】

■耐用年数を過ぎた水道管を耐震性能がある管に更新（L=7,062m）

（主な箇所）　西18条南５丁目　　L=1,571m　ほか

簡水　川西地区の受水切替【0.65億円】

■川西地区での安定した水道水の供給に向け、十勝中部広域水道企業団からの受水に切り替えるため、水道管の新設工事を実施（L=225m）

（箇所）　　美栄町

簡水　岩内浄水場の老朽設備の更新【1.28億円】

■岩内浄水場の浄水設備や制御設備等を更新（R6-8の継続事業）



水道管の更新



岩内浄水場の浄水等設備

下水　汚水管等の整備【1.72億円】

■道路整備等に伴い、汚水管等を移設・新設（L=474m）

（主な箇所）　西16条南28丁目　ほか

下水　汚水管等の長寿命化【0.62億円】

■耐用年数を過ぎた汚水管等を更新（L=410m）

（主な箇所）　西19条北１丁目　ほか

下水　汚水処理統合に向けた施設整備【6.99億円】

■汚水処理機能を十勝川浄化センターに統合するための施設整備等を実施

・汚水を送り出す中継ポンプ場を新設 及び 支障となる消化タンクを撤去（R7-9の継続事業）

・汚水を送る圧送管を整備（L=1,049m）

下水　帯広川下水終末処理場の改修【1.65億円】

■滅菌池（※）の電気設備（R5-7の継続事業）と機械設備（R6-7の継続事業）の更新、管路の新設工事を実施

（※）滅菌池：きれいになった水を川に流す前に最後の消毒をする池

農下　合併処理浄化槽の設置【0.68億円】

■合併処理浄化槽（5人用、7人用）を設置（12基）

⑵　災害に強い強靭な施設づくり

水道　水道管の耐震化【2.90億円】

■上下水道耐震化計画に基づき、重要施設（防災拠点や避難所）に接続する水道管を耐震化（L=2,021m）

（主な箇所）　大正町基線　　L=573m　　ほか

＜ ビジョンの目標値の進捗状況 ＞

指 標 名	実績値（R7）	計画値（R7）	目標値（R11）
水道管の耐震適合率	87.1%	87.0%	90.0%

（前年対比+0.8ポイント）

水道　稲田浄水場の地震対策【1.72億円】

■緊急遮断弁(※)の新設（１基)とそれに伴う送水管の整備を実施

(※)緊急遮断弁：地震などで水道管が破損した際に、配水池からの水の流出を防ぐため、水をせき止める装置



↑稲田浄水場の緊急遮断弁

下水　浸水防止のための雨水管整備【1.81億円】

■浸水対策として雨水管を整備（L=691m）

（箇所）　稲田地区（西9～11条南39～40丁目）

＜ ビジョンの目標値の進捗状況 ＞

指 標 名	実績値（R7）	計画値（R7）	目標値（R11）
雨水整備率	74.5%	74.6%	76.3%

（前年対比+0.3ポイント）

下水　道路陥没の未然防止に向けた下水道管の緊急点検【0.30億円】

■埼玉県八潮市の大規模道路陥没を受け、国からの要請に基づき、管径２m以上の下水道管の緊急点検を実施

→　点検の結果、緊急的に修繕等を必要とする管は無し！

下水　マンホールの浮上対策【0.15億円】

■地震により液状化の恐れのある地区においてマンホールが浮上する可能性を調査（５地区）

⑶　持続的な経営基盤の確保

水道　下水　簡水　農下　水道料金・下水道使用料体系の検証【35.7万円】

■帯広市公営企業審議会において、今後の上下水道料金や施設整備のあり方について検証（５回開催）

物価高騰に直面する市民・事業者支援

水道　簡水　水道料金基本料金の免除【6.46億円】

■物価高騰の影響を受けている市民や事業者を幅広く支援するため、国の交付金を活用し、水道料金の基本料金を６か月間免除（令和７年５月～10月検針分）

令和７年度
水道・下水道
業務量 及び 経営指標

水道事業会計　業務量

○　水道事業、簡易水道事業とも、給水人口や料金の対象になる有収水量は微減。

○　簡易水道事業では、漏水が発生したことなどにより、有収率が低下。

■水道事業

区分＼年度		用語解説	令和５年度決算	令和６年度決算	令和７年度決算	比較増△減	
						前年対比増減	増減率（％）
給水人口	人	給水区域内の給水を受けている人口	158,169	156,693	155,322	△ 1,371	△ 0.9
給水戸数	戸	給水契約をしている戸数	81,457	81,408	81,095	△ 313	△ 0.4
普及率	%	給水区域内人口に占める給水人口の割合	99.97	99.97	99.97	0.00	0.0
年間総配水量	千m^3	１年間に配水した水量	15,604	15,624	15,506	△ 118	△ 0.8
自己水源			9,540	9,334	7,787	△ 1,547	△ 16.6
企業団受水			6,064	6,290	7,719	1,429	22.7
有収水量	千m^3	総配水量のうち、漏水等を除いた料金収入の対象となる水量	14,352	14,376	14,322	△ 54	△ 0.4
有収率	%	年間総配水量に占める有収水量の割合	91.98	92.01	92.37	0.36	0.4

■簡易水道事業

令和５年度決算	令和６年度決算	令和７年度決算	比較増△減	
			前年対比増減	増減率（％）
2,982	2,933	2,886	△ 47	△ 1.6
1,027	1,026	1,022	△ 4	△ 0.4
94.61	94.52	93.85	△ 0.67	△ 0.7
648	632	689	57	9.0
445	431	437	6	1.5
203	201	252	51	25.2
473	486	481	△ 5	△ 1.0
72.95	76.89	69.81	△ 7.08	△ 9.2

下水道事業会計　業務量

○　下水道事業では、年間総処理水量は微増した一方、使用料の対象となる有収水量は微減。

○　農村下水道事業では、年間総処理水量・有収水量ともに微増。

■下水道事業

区分＼年度		用語解説	令和５年度決算	令和６年度決算	令和７年度決算	比較増△減	
						前年対比増減	増減率（％）
年間総処理水量	千m^3	１年間に処理場や合併処理浄化槽などで処理した水量	24,113	22,929	24,534	1,605	7.0
有収水量	千m^3	総処理水量のうち、雨水や不明水等を除いた使用料収入の対象となる水量	16,079	16,088	15,973	△ 115	△ 0.7
普及率	%	行政区域内人口に占める処理区域内人口の割合	97.17	97.14	97.14	0.00	0.0
合併処理浄化槽設置基数累計（個別排水処理事業）	基	合併処理浄化槽の累計設置基数					

■農村下水道事業

令和５年度決算	令和６年度決算	令和７年度決算	比較増△減	
			前年対比増減	増減率（％）
184	186	187	1	0.6
183	185	186	1	0.4
632	638	650	12	1.9

水道事業会計・下水道事業会計　経営指標

○　水道事業・下水道事業では、経常収支比率が100%を上回り、健全経営を維持。

○　法定耐用年数を超えた管は増加傾向だが、老朽管更新・管路耐震化の加速化やテレビカメラ調査等により適切に維持管理。

■水道事業

単位：%

指標＼年度	用語解説	令和5年度	令和6年度	令和7年度	比較増△減 前年対比増減	比較増△減 増減率
経常収支比率	水道料金などの収益で、維持管理費などの費用をどれだけ賄えているかを表す	115.18	112.79	111.96	△ 0.83	△ 0.7
料金回収率	給水にかかる費用を水道料金でどれだけ賄えているかを表す	84.76※	101.51	82.02※	△ 19.49	△ 19.2
有形固定資産減価償却率（水道事業会計）	償却対象の有形固定資産の減価償却が、どの程度進んでいるかを表す	49.73	50.54	51.82	1.28	2.5
管路経年化率	法定耐用年数40年を超えた管路延長の割合を表す	24.93	27.67	29.30	1.63	5.9

■簡易水道事業

単位：%

指標＼年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	比較増△減 前年対比増減	比較増△減 増減率
経常収支比率	90.66	92.09	75.98	△ 16.11	△ 17.5
料金回収率	78.65※	84.91	63.04※	△ 21.87	△ 25.8
有形固定資産減価償却率（水道事業会計）					
管路経年化率	60.77	60.78	60.96	0.18	0.3

※令和５年度と７年度は、水道料金の基本料金免除を行ったため、数値が低くなっている

■下水道事業

単位：%

指標＼年度	用語解説	令和5年度	令和6年度	令和7年度	比較増△減 前年対比増減	比較増△減 増減率
経常収支比率	下水道使用料などの収益で、維持管理費などの費用をどれだけ賄えているかを表す	112.97	113.91	113.36	△ 0.55	△ 0.5
経費回収率	汚水処理にかかる費用を下水道使用料でどれだけ賄えているかを表す	108.79	113.11	113.40	0.29	0.3
有形固定資産減価償却率（下水道事業会計）	償却対象の有形固定資産の減価償却が、どの程度進んでいるかを表す	56.65	58.42	59.94	1.52	2.6
管渠老朽化率	法定耐用年数50年を超えた管渠延長の割合を表す	14.00	15.34	16.41	1.07	7.0

■農村下水道事業

単位：%

指標＼年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	比較増△減 前年対比増減	比較増△減 増減率
経常収支比率	100.54	99.29	101.50	2.21	2.2
経費回収率	39.89	38.73	34.89	△ 3.84	△ 9.9
有形固定資産減価償却率（下水道事業会計）					
管渠老朽化率	0.00	0.00	0.00	0.00	－

水道事業会計
令和７年度決算概要

1　収益的収支～水道事業の運営に関する収支

○　収益的収支は、１年間の経営活動で発生する収益と費用からなり、企業の経営成績を表す。

○　収益は料金収入が大部分を占める。令和７年度は６か月間の基本料金免除を行った影響で料金収入が減少したが、その分は一般会計から補てんされているため、収支への影響は無し。

○　費用は、維持管理費などと減価償却費（※１）などが大部分を占める。

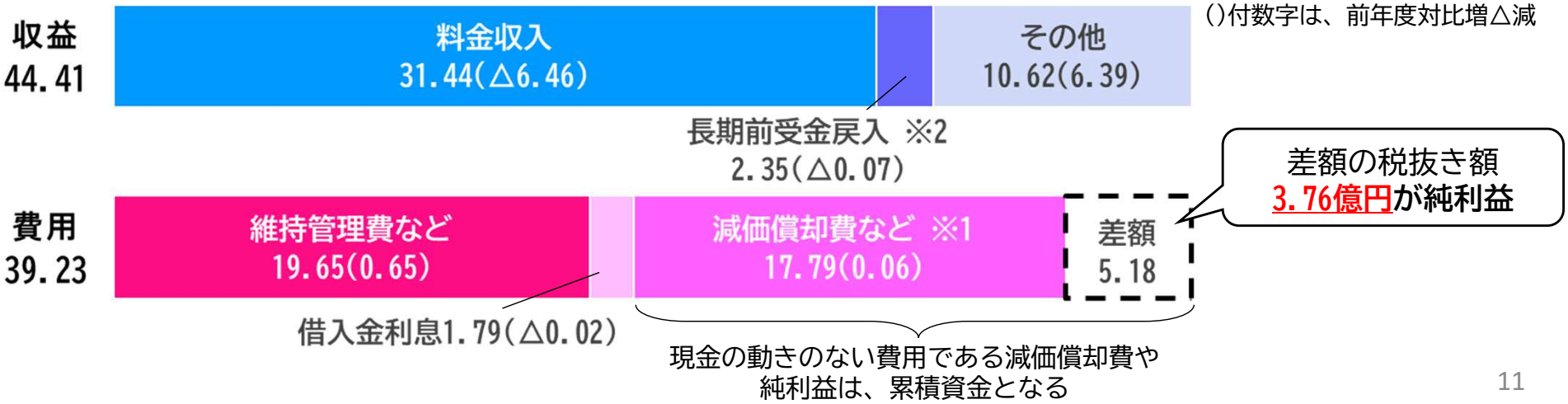
○　令和７年度は、維持管理費の増加などの影響で、前年度より若干少ない**3.76億円の純利益**となったが、計画値である**「ビジョン値」を1.47億円上回った**。

（表・グラフとも　税込み　単位：億円）

			令和６年度決算額	令和７年度決算額	増減額	増減率	令和７年度上下水道ビジョン値	増減額
収益的収支	収益	水道	42.88	42.73	△ 0.15	△0.3%		
		簡易水道	1.67	1.68	0.01	0.6%		
		合計	44.55	**44.41**	△ 0.14	△0.3%		
	費用	水道	36.79	37.07	0.28	0.8%		
		簡易水道	1.75	2.16	0.41	23.4%		
		合計	38.54	**39.23**	0.69	1.8%		
純利益（税抜）		水道	4.47	4.25	△ 0.22	△4.9%	2.91	1.34
		簡易水道	△ 0.13	△ 0.49	△ 0.36	276.9%	△ 0.62	0.13
		合計	4.34	**3.76**	△ 0.58	△13.4%	2.29	**1.47**

（※1）と（※2）については、次ページで解説

純利益がビジョンを**1.47億円**上回る！



（）付数字は、前年度対比増△減

差額の税抜き額**3.76億円**が純利益

2　資本的収支～設備投資とその財源に関する収支

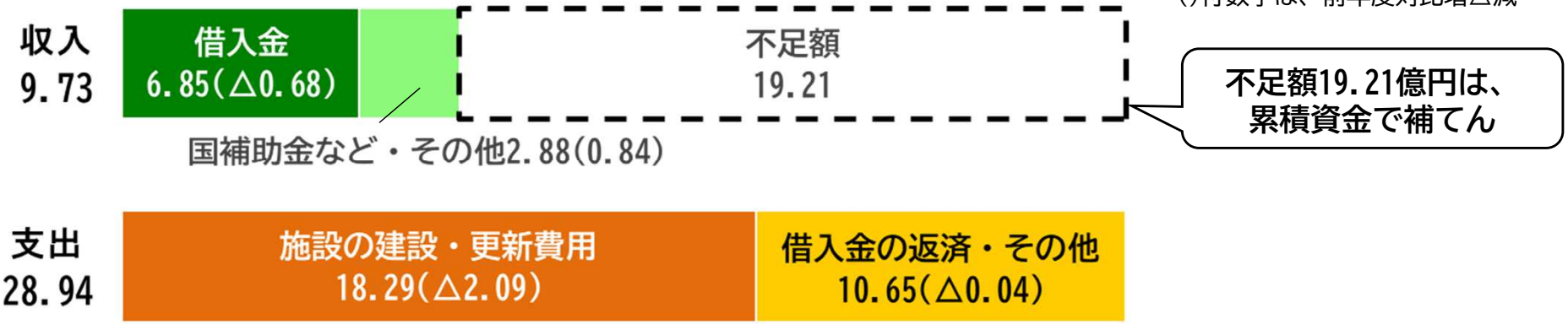
○　資本的収支は、公営企業の将来の経営活動に備えて行う施設（水道管含む）の建設・更新費用や借入金の返済などの支出と、その財源となる収入からなる。

○　資本的収支では、通常、収入よりも支出額が大きくなり、令和７年度の不足額19.21億円は、次ページで説明する累積資金で補てん。

（表・グラフとも　税込み　単位：億円）

			令和６年度決算額	令和７年度決算額	増減額	増減率
資本的収支	収入	水道	7.37	7.55	0.18	2.4%
		簡易水道	2.20	2.18	△ 0.02	△0.9%
		合計	9.57	**9.73**	0.16	1.7%
	支出	水道	28.57	26.42	△ 2.15	△7.5%
		簡易水道	2.50	2.52	0.02	0.8%
		合計	31.07	**28.94**	△ 2.13	△6.9%
	不足額		21.50	**19.21**	△ 2.29	△10.7%

()付数字は、前年度対比増△減



【用語解説】

(※1)減価償却費…長く使う水道管などの資産の建設費用を、その資産が使用できる年数で割って、毎年の費用として計上する会計処理。帳簿上の処理で、現金の動きはない費用。

(※2)長期前受金戻入…長く使う水道管などの資産の建設時の財源（国の補助金や市の負担金など）を減価償却に合わせて毎年徐々に収益として計上する会計処理。帳簿上の処理で、現金の動きはない収益。

3　累積資金残高～これまで貯めてきた資金

○　累積資金残高は、外部に流出せず、企業内部に残っている資金の額。

○　令和７年度末の残高は、**19.78億円**。前年度末残高は18.38億円だったが、令和７年度中に純利益や現金の動きがない費用である減価償却費などで20.61億円増加した一方、前のページで説明した資本的収支の不足額の補てんで19.21億円使用したため、差し引き1.40億円増加。（下記イメージ図参照）

○　計画値である**「ビジョン値」を2.66億円上回っており、健全な経営を維持**できている。

累積資金残高（各年度末）　　単位：億円

	令和６年度	令和７年度	増減額	増減率	令和７年度 上下水道 ビジョン値	増減額
水道	17.59	19.31	1.72	9.8%	16.79	2.52
簡易水道	0.79	0.47	△ 0.32	△40.5%	0.33	0.14
合計	18.38	**19.78**	1.40	7.6%	17.12	**2.66**

ビジョン値を上回っており、
健全経営を維持！

【累積資金残高の動き（イメージ）】　単位：億円

累積資金 Ｒ６残高 18.38

＋

増加 20.61

- 純利益　3.76
- 減価償却費など 15.45
- その他　1.40

－

使用 19.21

資本的収支 不足額補てん 19.21

差引 +1.40

＝

累積資金 Ｒ７残高 19.78

下水道事業会計
令和７年度決算概要

1　収益的収支～下水道事業の運営に関する収支

○　収益は、水道ほどではないが、下水道使用料の占める割合が高い。また、雨水処理にかかる費用は、使用料ではなく、公費（一般会計）で負担するため、水道に比べて他会計負担金が多い。

○　費用は、水道同様、施設や下水道管の維持管理費などと減価償却費などが多くを占める。

○　令和７年度は、前年度より若干少ない**5.70億円の純利益**となったが、計画値である**「ビジョン値」を0.82億円上回った**。

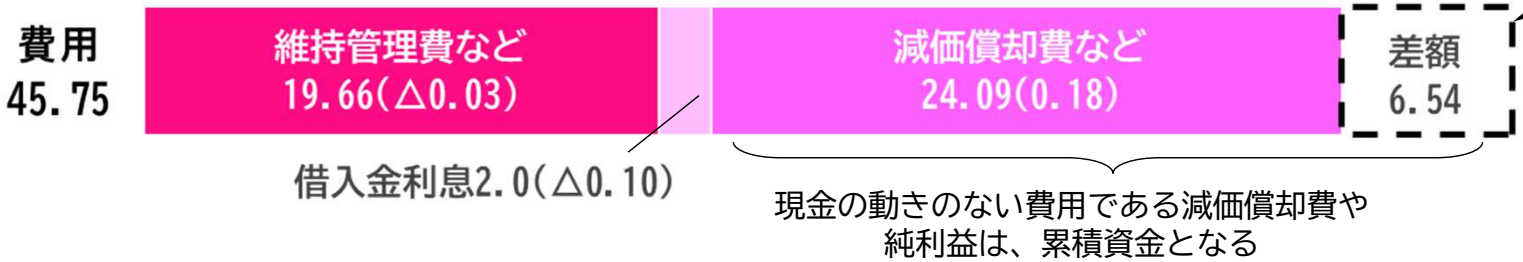
（表・グラフとも　税込み　単位：億円）

			令和６年度決算額	令和７年度決算額	増減額	増減率	令和７年度上下水道ビジョン値	増減額
収益的収支	収益	下水道	50.73	50.80	0.07	0.1%		
		農村下水道	1.35	1.49	0.14	10.4%		
		合計	52.08	**52.29**	0.21	0.4%		
	費用	下水道	44.33	44.27	△ 0.06	△0.1%		
		農村下水道	1.37	1.48	0.11	8.0%		
		合計	45.70	**45.75**	0.05	0.1%		
純利益（税抜）		下水道	5.87	5.68	△ 0.19	△3.2%	4.69	0.99
		農村下水道	△ 0.01	0.02	0.03	—	0.19	△ 0.17
		合計	5.86	**5.70**	△ 0.16	△2.7%	4.88	**0.82**

純利益がビジョンを**0.82億円**上回る！

（）付数字は、前年度対比増△減





差額の税抜き額**5.70億円**が純利益！

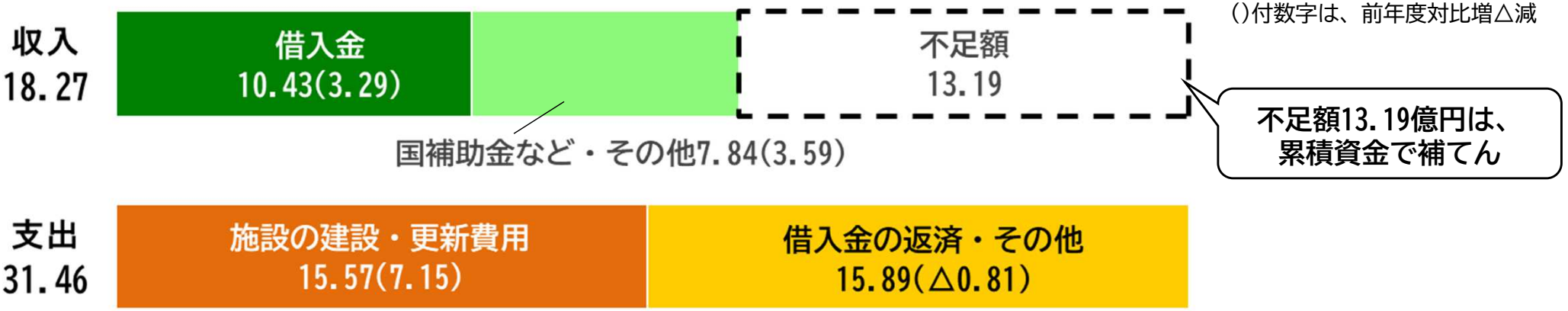
2　資本的収支～設備投資とその財源に関する収支

○　資本的収支は、公営企業の将来の経営活動に備えて行う施設（下水道管含む）の建設・更新費用や借入金の返済などの支出と、その財源となる収入からなる。

○　資本的収支は、通常、収入よりも支出額が大きくなり、令和７年度の不足額13.19億円は、次ページで説明する累積資金で補てん。

（表・グラフとも　税込み　単位：億円）

			令和６年度決算額	令和７年度決算額	増減額	増減率
資本的収支	収入	下水道	10.95	17.57	6.62	60.5%
		農村下水道	0.44	0.70	0.26	59.1%
		合計	11.39	**18.27**	6.88	60.4%
	支出	下水道	24.27	30.25	5.98	24.6%
		農村下水道	0.85	1.21	0.36	42.4%
		合計	25.12	**31.46**	6.34	25.2%
	不足額		13.73	**13.19**	△ 0.54	△3.9%



()付数字は、前年度対比増△減

不足額13.19億円は、累積資金で補てん

3　累積資金残高～これまで貯めてきた資金

○　累積資金残高は、外部に流出せず、企業内部に残っている資金の額。

○　令和７年度末の残高は、**26.44億円**。前年度末残高は19.61億円だったが、令和７年度中に、純利益や現金の動きがない費用である減価償却費などで20.02億円増加した一方、前のページで説明した資本的収支の不足額の補てんで13.19億円使用したため、差し引き6.83億円増加。（下記イメージ図参照）

○　なお、令和６年度以降、汚水処理施設等の整備については、交付税措置を最大限活用するため、**可能な限り企業債を追加借り入れ**しており、整備の財源として累積資金を使う必要がなくなったため、累積資金残高が増加傾向。

○　追加借り入れの令和７年度末残高8.46億円を除いた**実質の累積資金残高は17.98億円**で、計画値である**「ビジョン値」を1.91億円上回っており、健全な経営を維持**できている。

累積資金残高（各年度末）　　単位：億円

	令和６年度	令和７年度	増減額	増減率	令和７年度 上下水道 ビジョン値	増減額
下水道	19.60	26.43	6.83	34.8%	25.29	1.14
農村下水道	0.01	0.01	0.00	0.0%	0.00	0.01
合計	19.61	26.44	6.83	34.8%	25.29	1.15
合計（汚水追加借入除く）	16.15	**17.98**	1.83	11.3%	**16.07**	**1.91**

ビジョン値を上回っており、**健全経営を維持**！

【累積資金残高の動き（イメージ）】　単位：億円

